

一 寺りたつる高知地不山人因竹友人と未見くを所
 以て何の上聖樂立て下一管し不指在叶市同令
 寺し舟連に云をうりる官方見ふく若し中ノ極而
 聖方の云をうりるを速中風るる破持未出来
 自後云々當り中なる令業以
 一 一り四角の自竹根下高知山事一山布出し八力在男
 前本飛んふ方く而指お併其四月の事は珍物若
 石若方そ一ゆり事

○ 其 萬永二百年六月九日久留米藩長丹呂長与の在寮同
 藩度所時次希上奏報

以高田代對明代友吉川丸也代と一平田大炊と
 中野代友子紙田代領武文の川之方し中と武
 伎持利の川之方し百姓の中と進一武士相成人
 以權立其上田代、亦敵の對列に公引其多人由
 引移多うの川之方なりし中也其敵ハ嘆咭奴朝鮮
 武治に殺艘名者保障と築く或は捕鯨或ハ耕
 作と初と屯田と築く相見に也對列沖通取成ハ名者
 一英國取南争り、其今近於合二百三十艘ハ捕鯨
 船と一西長舟と七中と必皆平戸に伎倆ハ勝れ中
 其右一舟、對列は伎立の船と一藩士民倫也

